

京都精華大学活動報告 0 1

日時：平成 28 年 4 月 18 日（月）10:00～14:00

天気：曇のち雨

気温：21.0℃

水温：16.8℃

参加者：10 名

フィールド：噴水池，京都の森

内容

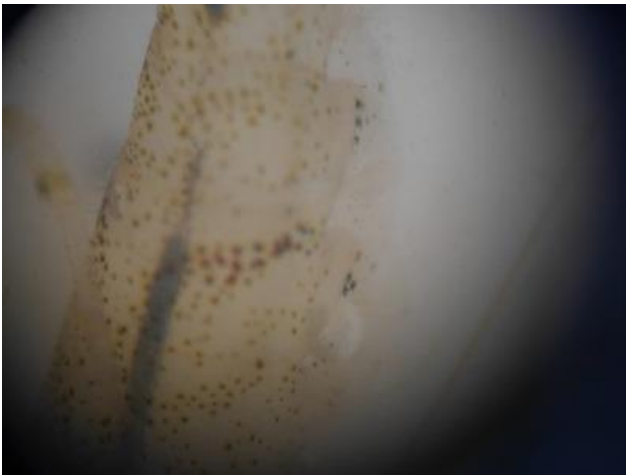
・たも網，サデ網，ザルを使って，浮いている藻を回収しました。また，藻と一緒に多くのスジエビ・ヨコエビが回収されました。ただし，アメリカザリガニやアメンボはまだ少ない感じです。

動物園に来られた際は噴水池も観察されると季節の変化を感じられると思います。ただし，観察しやすくなっていますが，くれぐれも落ちないように御注意下さい。

なお，今回の回収量は 78.5 kg（水分含）でした。



・今年度からネイチャースコープを活用した調査も始めています。



ネイチャースコープで見るとスジエビはこんな感じに見えます。

・昨年、放流したヤリタナゴが産卵できるようにと、砂を入れた植木鉢にドブガイをセットしました。



ただ、放流以降、魚影は確認されておらず、今回の調査で初めて白っぽい魚影を確認したとの報告がありました。

・京都の森の水路でカワニナの定点調査及び水生昆虫の調査を行いました。

カワニナ 26 個体（最小 11mm~最大 26mm），死貝（22mm~28mm）を確認し，その他にシオカラトンボのヤゴ，イトトンボ，シロタニガワカゲロウの幼虫，ガガンボの幼虫，サカマキガイ多数，トビケラの幼虫を観察しました。



・棚田の下池には，今年 3 月に草魚を放流しており，藻の回収作業とともに観察をしましたが，確認はできませんでした。

